油だき温水ボイラ

取扱説明書

CBL-EN5200STFF

このたびは本品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この取扱説明書を読んで正しいご使用方法でいつまでもご愛用くださいますようお願い申しあげます。

1．まちがった使用をされますと、機能を十分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。
2．保証書（この取扱説明書最終ページ）は必ず販売店名、設置日などの記入を確かめて、大切に保管してください。

長府工産株式会社

TRS200AG

目　次

リモコンにより使用方法が違います。お使いのリモコンをご確認ください。

特に注意していただきたいこと

●ここに示した事項は　⚠警告　⚠注意　に区分しています。

⚠警告　：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●マークについては次のような意味があります。

……「禁止していること」を表すマークです。

……「必ず行なうこと」を表すマークです。

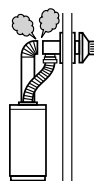
⚠……「注意すべきこと」を表すマークです。

⚠警告（WARNING）

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

はずれ危険

給排気筒がはずれたままで使用しないでください。
はずれていると運転中に排気ガスが室内に漏れて危険です。

給排気筒の閉そく危険

給排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。
閉そくしていると運転中に排気ガスが室内に漏れて危険です。

給排気筒トップの閉そく危険

積雪の多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。
ふさがれているときは除雪してください。閉そくしていると運転中に排気ガスが室内に漏れて危険です。

⚠注意（CAUTION）

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部、排気筒、排気トップに手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。

高 温 注 意

入浴するときやシャワーを使用するときは、手で湯の温度を確かめてください。
やけどのおそれがあります。

可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
火災のおそれがあります。
特に、機器周辺にガソリン・ベンジン・スプレー缶などの引火性危険物は置かないでください。

分解修理・改造の禁止

故障や破損したときは、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

ゴム製送油管の屋外使用禁止

ゴム製送油管を屋外で使用しないでください。
ひび割れを生じて油漏れの原因になります。

ゴム製送油管の点検・交換（ゴム製送油管使用の場合）

ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があった場合は交換してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂などがない場合でも２～３年に１度は新しいものに交換されることをおすすめします。
交換しないと灯油の漏れにつながり、火災のおそれがあります。

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときはコードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

⚠注意（CAUTION）

異常・故障時使用禁止

油漏れやにおい、すすの発生など異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。
ぬれた手でプラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。

長期間使用しないとき

長期間運転を休止すると、灯油の劣化・固着により再び運転する際に不着火や燃焼時に排気口から黒煙や白煙が出るなど異常燃焼の原因になります。また、循環ポンプの固着により循環水が回らないおそれがあります。
長期間使用しない場合は、３ヶ月に１度は正常に運転するかどうか確認してください。

電源プラグのお手入れをする

時々は電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

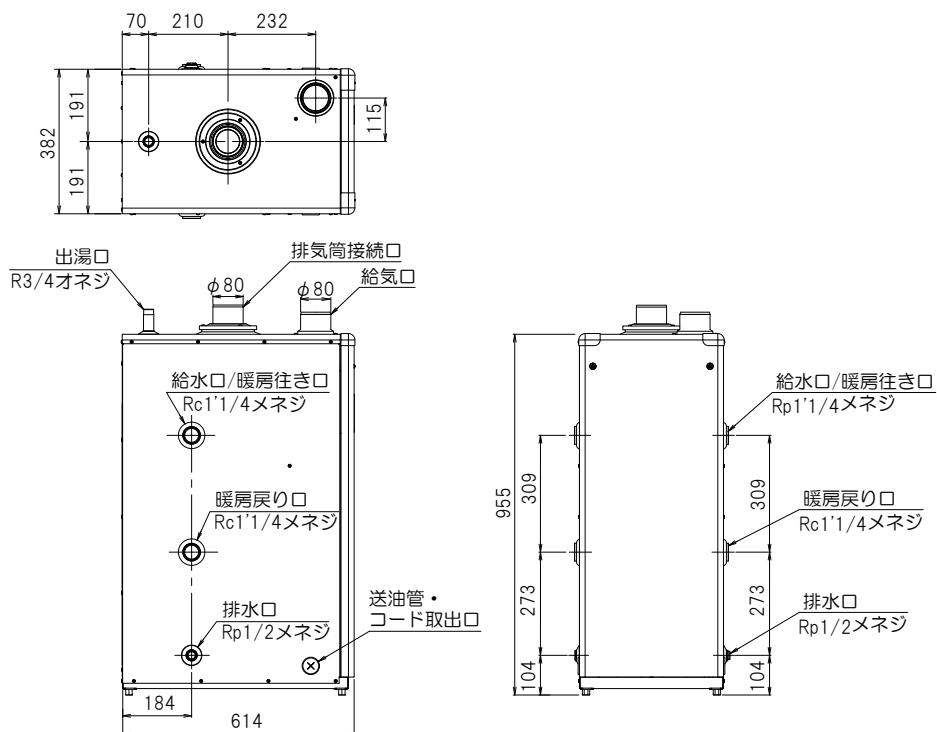
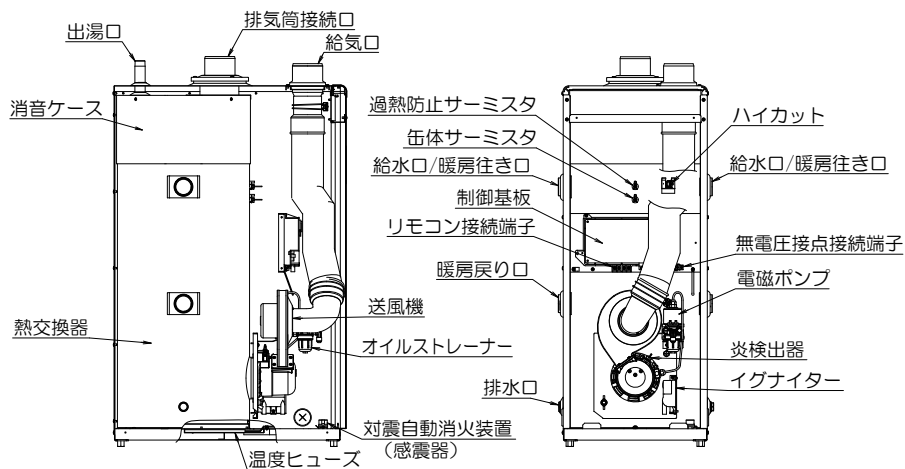
屋外では防水コンセントを使用する

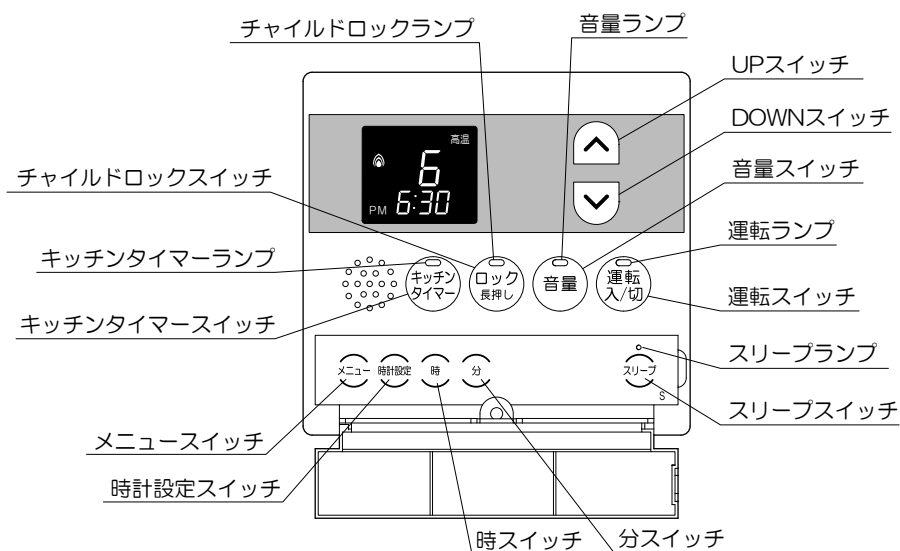
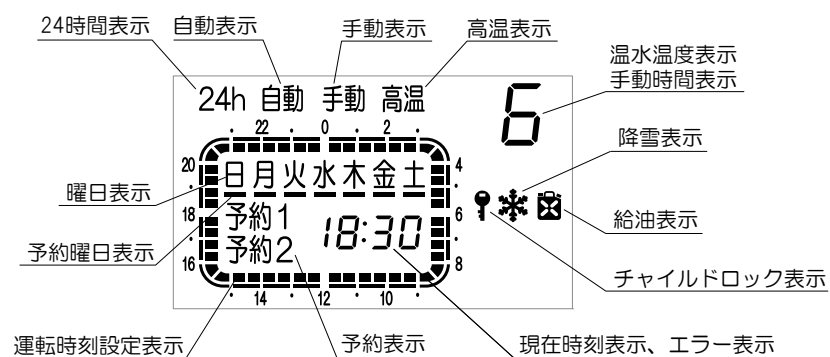
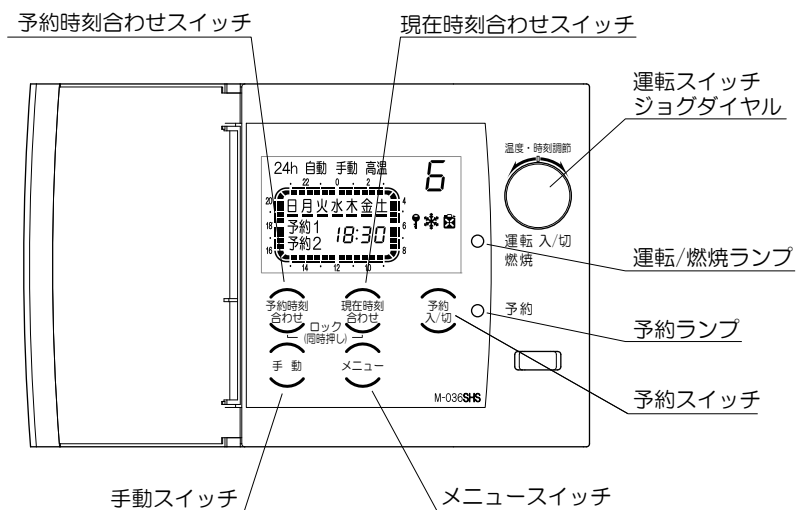
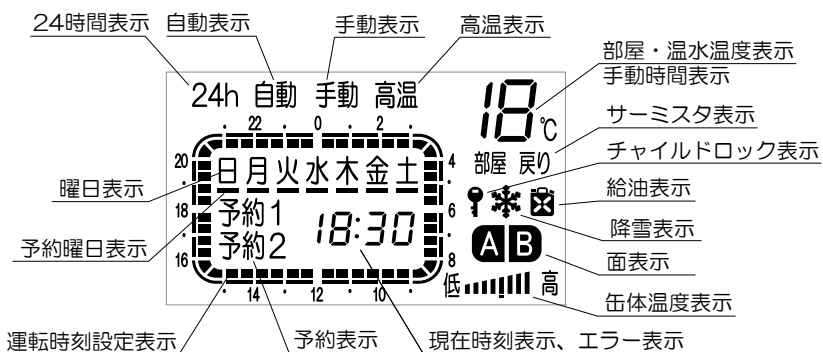
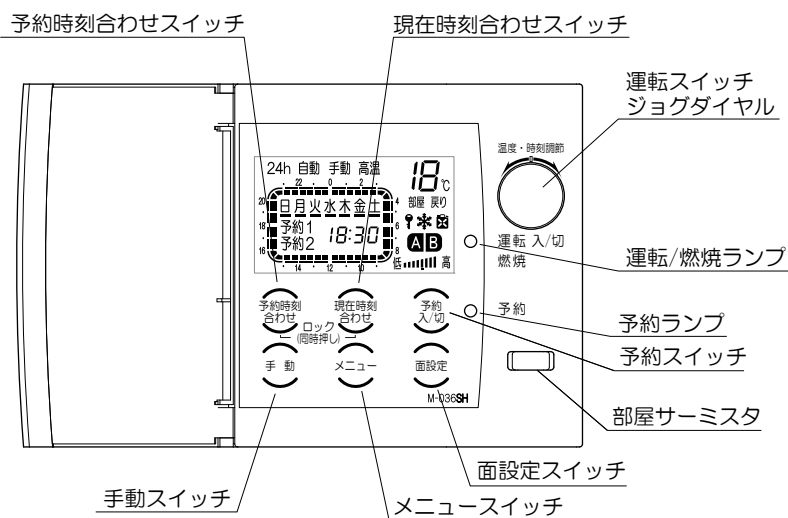
屋外では必ず防水コンセントを使用してください。漏電などにより、機器が故障するおそれがあります。

循環液（不凍液、補充液）の保管に注意

循環液（不凍液、補充液）は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、飲んだ場合はすぐに吐かせて、医師の診断を受けてください。

各部の名称

《 CBL-EN5200STFF 》

《 操　作　部 》

給湯用の場合はデジタルリモコン（M-036SSP）が使用できます。
暖房用の場合はデジタルリモコン（M-036SSP）、簡易タイマーリモコン（M-036SHS）、タイマーリモコン（M-036SH）の内１種類を使用できます。
種類の違うリモコンは同時に使用できません。

● 簡易タイマーリモコン　M－０３６ＳＨＳ（別売）暖房用

● タイマーリモコン　Ｍ－０３６ＳＨ（別売）暖房用

使用前の準備

燃　　　料

燃料は必ず灯油（ＪＩＳ１号）をお使いください。

ガソリン厳禁

ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

変質灯油や不純灯油は絶対に使用しないでください。異常燃焼や故障の原因になります。

不良灯油（変質灯油、不純灯油）は、絶対に使用しないでください。

変質灯油とは

- 古い灯油
- 日光の当る場所、高温の場所で保管した灯油
- 乳白色のポリ容器や容器のふたをあけて保管した灯油
  極度に変質したものは黄色味がかったり、酸っぱい臭いがします。

不純灯油とは

- ガソリン、シンナーが混入したもの　→　火災の原因になります。
- 水や灯油以外の油が混入したもの　→　故障の原因になります。
  （天ぷら油、機械油）
- 助燃剤、水抜き剤などの添加物が混入したもの　→　故障の原因になります。
- ドラム缶のさびなどが混入したもの　→　燃料フィルターがつまります。

正しい灯油の保管方法

- 火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた冷暗所で保管してください。
- 紫外線を通しにくい色つきの灯油用ポリタンク（推奨マーク付）を使用してください。
- 屋外油タンクは使用量に見合う容量のタンクを選び、日の当たらない北側などに設置することをお勧めします。

注意

変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、ノズルづまりによる不着火や燃焼時に排気口から黒煙や白煙が出るなど、異常燃焼の原因になります。

給　　油

給油の際の注意

給油の際に、水・ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水・ゴミなどは燃焼不良や、電磁ポンプの寿命低下などの原因となります。

(1) 油タンクの給油口ふたをはずし、灯油を市販の給油ポンプで油量計を見ながら給油してください。

(2) 給油の際は、給油口のフィルターを取去らないでください。

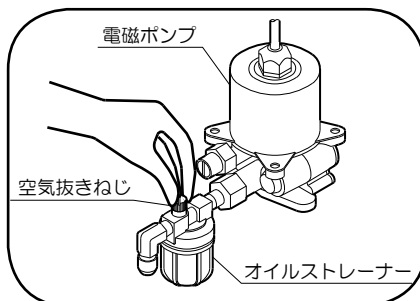
(3) 給油の際にこぼれた灯油はよくふきとってください。

(4) 給油口ふたは、必ず元通りに閉めてください。

燃料切れの注意

油タンクの油量を時々点検し、燃料切れになる前に必ず給油してください。据付けて初めて使用するときや、油タンクを空にし給油後初めて使用するときは、送油経路内に空気が入って点火できないことがあります。この場合は、次の要領で送油経路内の空気を抜いてください。

送油経路の空気抜き方法

据付けて初めて使用するときは、送油経路内の空気抜きを行なってください。油タンクの送油バルブを開き、オイルストレーナーの空気抜きねじをゆるめて、灯油が連続して出てきたら、手でねじを締めてください。こぼれた灯油はすぐにふき取ってください。

- 空気抜きは十分に行なってください。空気抜きが不十分ですと、点火しなかったり、燃焼中に消火することがあります。
- もし点火しなかった場合やエラー「１１０」が表示される場合は、運転スイッチを入れなおしてください。
- 油タンク（送油経路）は空にしないように注意してください。

運転開始前の準備と確認

機器への給水及び水漏れの確認

- 運転スイッチを入れる前に、給水元栓が開いていることを確認し、給湯栓を開いて水が出ることを確かめてください。水が出ないときは、凍結していないか、排水栓が開いていないかなどを調べ、給湯栓から水が出るようにしてください。
- 配管経路及び接続部などに水漏れはないか確認してください。
- 暖房用または融雪用の熱源機として使用している場合は、循環水が入っているか確認してください。給水方法は配管工事のやり方によって異なりますので、工事店の指導を受けてください。なお､循環水は純正不凍液を適正な濃度にして使用してください。

暖房用または融雪用で使用する場合は、給水の際に循環水（不凍液）がこぼれないように注意してください。こぼれた場合、電気部品のショートなどにより故障するおそれがあります。

送油経路からの油漏れの確認

油タンクに灯油が十分入っており、送油経路に油漏れがないか確認してください。

電気回路の確認

電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。
この機器は 100V 仕様で、50Hz、60Hz 共通です。
延長コードは使用しないでください。

給排気筒の接続の確認

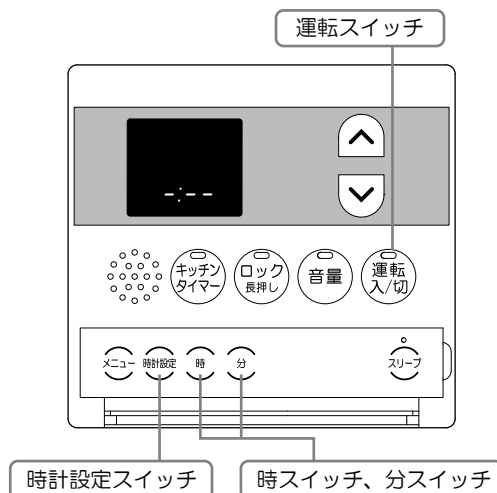
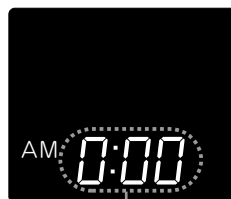
給排気筒は確実に接続してあり、漏れや、はずれがないか確認してください。

機器周辺の危険物などに関する注意

機器の周辺にガソリン、シンナーなどの危険物や、紙などの可燃物が置かれていないことを確認してください。

現在時刻の合わせ方（デジタルリモコンの場合）

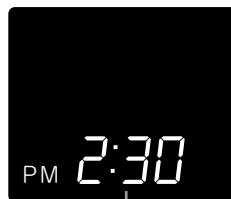
取付けて初めて使用するとき、または停電などで長時間電源が入らない状態が続いたときは、現在時刻がリセットされ時刻表示が「－：－－」になります。現在時刻を合わせてください。

1. 時計設定スイッチ（時計設定）を押す

時刻表示が点滅します。

時刻表示が点滅

時スイッチを押すと1時間ずつ進みます。

分スイッチを押すと1分ずつ進みます。
長押しすると10分ずつ進みます。

3. 時計設定スイッチ（時計設定）を押す

時刻表示が点灯します。
時計設定スイッチを押さなくても、7秒以上放置すると現在時刻が設定されて時刻表示が点灯します。

時刻表示が点灯

現在時刻の合わせ方（簡易タイマーリモコン・タイマーリモコンの場合）

取付けて初めて使用するとき、または停電などで長時間電源が入らない状態が続いたときは、現在時刻がリセットされ時刻表示が「－－：－－」になります。現在時刻を合わせてください。

注意　現在時刻がセットされていないと予約運転ができません。

1. 運転スイッチ を押す

運転ランプが点灯し、温度設定を表示します。

2. 現在時刻合わせスイッチ を押す

時表示が点滅します。

3. ジョグダイヤル を回して現在時刻に合わせる

右に回すと１時間ずつ進みます。
左に回すと１時間ずつ戻ります。

4. 現在時刻合わせスイッチ を押す

分表示が点滅します。

5. ジョグダイヤル を回して現在時刻に合わせる

右に回すと１分ずつ進みます。
左に回すと１分ずつ戻ります。

6. 現在時刻合わせスイッチ を押す

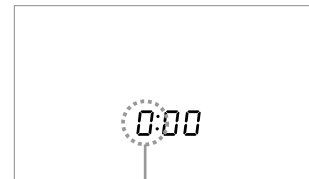
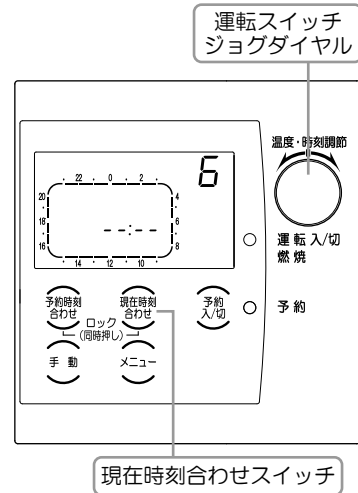
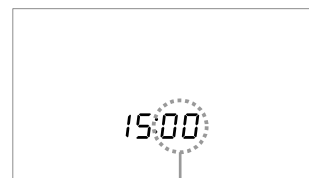
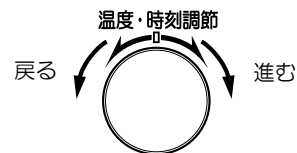
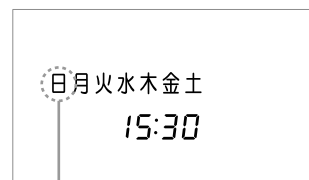
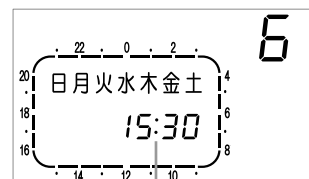
曜日表示が点滅します。

7. ジョグダイヤル を回して曜日を合わせる

右に回すと１つずつ進みます。
左に回すと１つずつ戻ります。

曜日表示が点滅

8. 現在時刻合わせスイッチ を押す

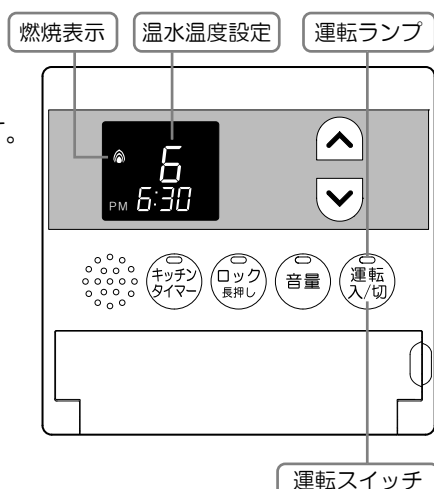
また、７秒以上放置すると現在時刻設定が完了し時刻表示が点灯します。

使用方法（デジタルリモコン）

運転方法

燃焼表示　温水温度設定　運転ランプ

運転スイッチ

運転スイッチ 運転入/切 を押す

運転ランプが点灯し、温水温度設定が表示されます。
バーナー燃焼中は燃焼表示が点灯します。

温度調節の方法

  で温水温度を設定する

温水温度は１～８の８段階に設定できます。

 を押すと１ずつ上がります。

 を押すと１ずつ下がります。

７以上に設定したときは、高温表示が点灯します。
出荷時は６に設定しています。

高温表示

温度設定と温水温度のめやす

設定値	1	2	3	4	5	6	7	8
温度（℃）	10	35	40	45	50	60	70	80

注意　温水温度は、配管の長さや気温により変わります。
また、一定の温度設定でも使用中に温水温度が上下する場合があります。
めやすとしてお使いください。

運転停止

運転ランプが消灯し、運転を停止します。

チャイルドロック

子供によるリモコンの誤操作を防ぐ為、運転スイッチ以外の操作をロックします。

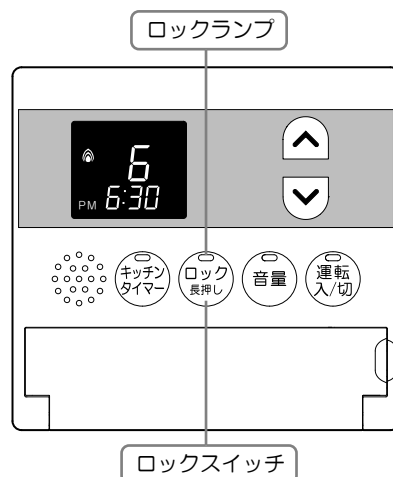
チャイルドロックをする

ロックスイッチ（ロック長押し）を長押しする

ロックランプが点灯してリモコン操作ができなくなります。

チャイルドロックを解除する

ロックスイッチ（ロック長押し）を長押しする

ロックランプ表示が消灯してリモコン操作が可能になります。

キッチンタイマー

設定した時間が経過するとアラームでお知らせします。

1. キッチンタイマースイッチ (キッチン タイマー) を押す

タイマーランプが点灯し、運転時間が点滅します。

2. (∧) (∨) で時間を設定する

1～99分59秒の範囲で設定できます。

(∧) を押すと1秒ずつ、長押しすると10秒ずつ、その後1分ずつ増えます。

(∨) を押すと1秒ずつ、長押しすると10秒ずつ、その後1分ずつ減ります。

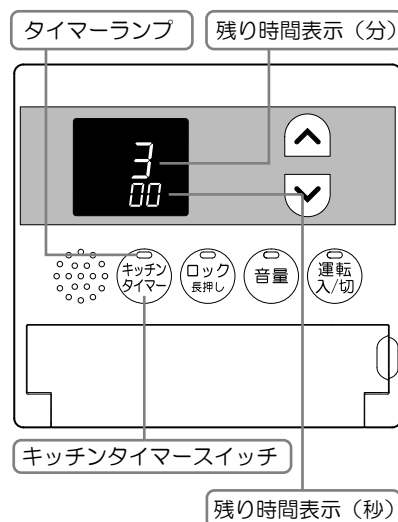
3. キッチンタイマースイッチ (キッチン タイマー) を押す

時間設定が確定となり、タイマーが始まります。
設定時間が経過するとアラームでお知らせし、タイマーランプが消灯します。

キッチンタイマーを途中で止めたいとき

キッチンタイマースイッチ (キッチン タイマー) を押す

タイマーを終了します。

注意 キッチンタイマー作動中は運転スイッチとキッチンタイマースイッチ以外は操作できません。

スリープ

設定した時間が経過すると運転を停止します。

1. スリープスイッチ スリープ を押す

   スリープランプと設定時間が点滅します。

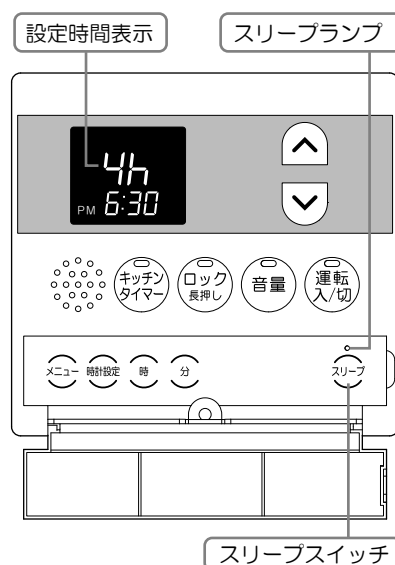
2. ∧ ∨ で時間を設定する

   １～８時間の１時間単位で設定できます。
   リモコンの表示は１ｈ、２ｈ～８ｈです。

∧ を押すと１時間ずつ増えます。

∨ を押すと１時間ずつ減ります。

3. スリープスイッチ スリープ を押す

   時間設定が確定となり、スリープランプが点灯し、元の表示に戻ります。
   スリープの設定時間が経過すると自動的に運転を停止します。

スリープを途中で止めたいとき

スリープスイッチ スリープ を押す

スリープランプが消灯してスリープを終了します。
また、**運転スイッチ**を押すとスリープを終了し、機器の運転を停止します。

デジタルリモコン

時計表示設定

運転切時のリモコンの時計表示の有無を設定します。

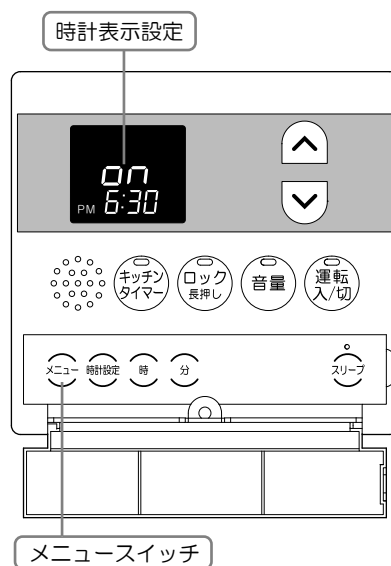
1. メニュースイッチ メニュー を押す

   時計表示設定が点滅表示されます。

2. ∧ ∨ で設定する

   ON（表示は on）：時計表示をする
   OFF（表示は of）：時計表示をしない
   出荷時は ON に設定しています。

3. メニュースイッチ メニュー を押す

   時計表示設定が確定となり、設定モードが終了します。

音量設定

リモコンの音量を設定します。

1. 音量スイッチ（音量）を押す

音量表示が点灯します。

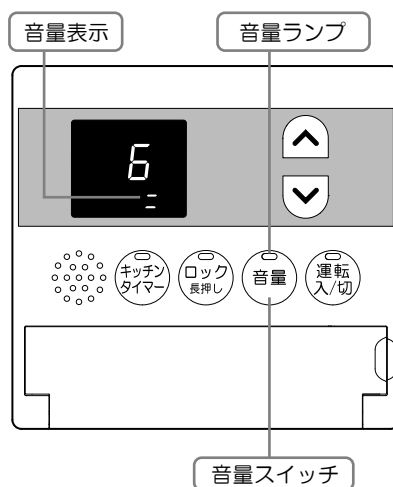
2. ∧ ∨ で設定する

大、標準、小、消音※の４段階に変更できます。

音量：大

音量：標準

音量：小

音量：消音

3. 音量スイッチ（音量）を押す

音量が確定となり、音量設定モードが終了します。

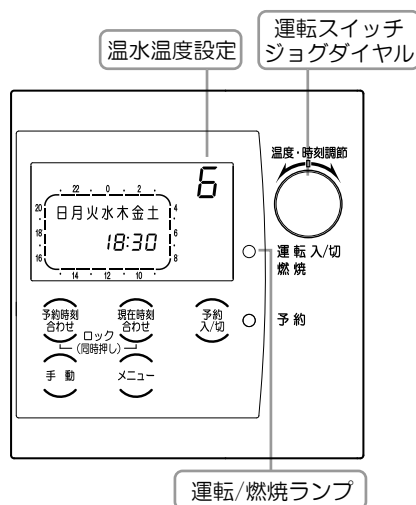
※消音に設定した場合でもエラー発生時の警報音は鳴ります。

使用方法（簡易タイマーリモコン）

運 転 方 法

運転スイッチ ◯ を押す

運転 / 燃焼ランプが緑に点灯し、温水温度設定、現在時刻が表示されます。
バーナー燃焼中は運転 / 燃焼ランプが赤く点灯します。

運転スイッチを入れただけでは暖房運転しません。
手動運転、自動運転のいずれかの設定が必要です。
それぞれ組み合わせての運転も可能です。

暖房運転の種類

- **手動運転**　☞ 21 ページ
  すぐ暖房運転をする場合に使用します。
  暖房時間を 1 時間から 24 時間まで 1 時間単位で設定できます。設定した時間を経過すると自動で暖房が切れます。
  （24 時間に設定した場合は連続運転となり、運転を切るまで暖房運転します）

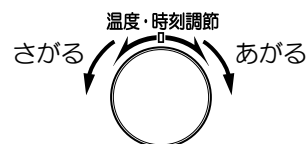
- **自動運転**　☞ 22 ページ
  あらかじめ設定した時刻に自動で暖房運転をします。
  １日の暖房運転の時間を 30 分単位で設定できます。二通りの設定が登録できるので、曜日で分けた運転が可能です。

- **24 時間運転**　☞ 26 ページ
  手動運転、自動運転の暖房停止時間に、低い温度で運転を続けたい場合に使用します。
  手動運転で 24 時間に設定した場合とは異なります。

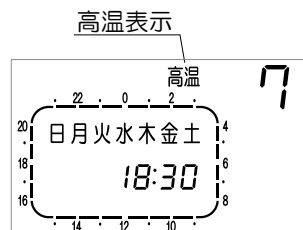
温度調節の方法

ジョグダイヤル ◯ を回して温水温度を設定する

温水温度は１～８の８段階で設定できます。

７以上に設定したときは、高温表示が点灯します。

出荷時は６に設定しています。

温度設定と温水温度のめやす

設定値	1	2	3	4	5	6	7	8
温度（℃）	10	35	40	45	50	60	70	80

注意 温水温度は、配管の長さや気温により変わります。
また、一定の温度設定でも使用中に温水温度が上下する場合があります。
めやすとしてお使いください。

手動運転（暖房を使いたいとき）

設定した時間だけ暖房運転します。設定時間が過ぎると暖房運転を停止します。

手動運転開始

1．手動スイッチ 手動 を押す

手動表示と運転時間が点滅し、運転時間表示が点灯します。

2．ジョグダイヤル を回して運転時間を設定する

１～24 ｈまでの１時間単位で設定できます。
出荷時は 24 ｈに設定しています。

温度・時刻調節
減る
増える

注意　**24 ｈと設定した場合は連続運転になります。**

3．手動スイッチ 手動 を押す

運転時間が確定となり、手動運転が始まります。
設定時間が過ぎると手動運転を終了します。

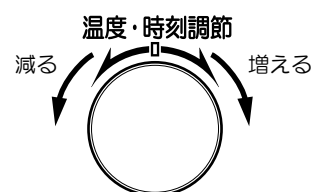
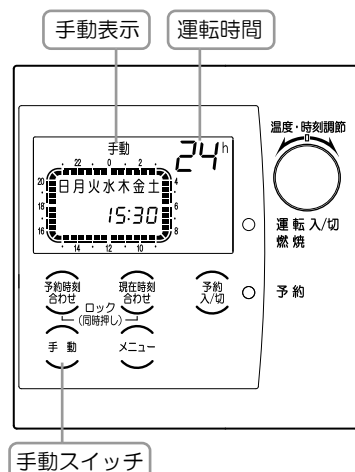
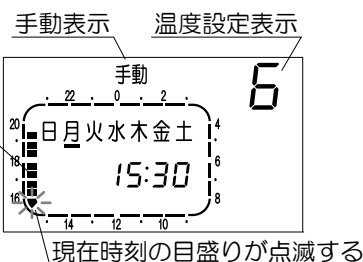
手動表示
温度設定表示
手動
6
運転時間表示
（４hに設定した場合）
日月火水木金土
15:30
現在時刻の目盛りが点滅する

手動運転停止

手動スイッチ 手動 を押す

手動運転を終了します。
また、**運転スイッチ**を押すと手動運転を終了し、機器の運転を停止します。

自動運転中に手動運転をすると、手動運転終了後に自動運転に戻ります。

注意
- **現在時刻が設定されていないと手動運転はできません。**
- **手動運転中は現在時刻の変更はできません。**

自動運転（予約した時間に暖房するとき）

あらかじめ設定した予約パターンに沿って暖房運転します。予約の設定方法は 22 ページを参照してください。予約の設定がされていないと自動運転できません。

自動表示　予約ランプ

温度・時刻調節　自動　6　日月火水木金土　予約1　15:30　運転 入/切　燃焼　予約時刻合わせ　現在時刻合わせ　予約入/切　予約　ロック（同時押し）　手動　メニュー

予約表示　予約スイッチ

自動表示　自動　日月火水木金土　予約1　15:30　予約表示

自動運転開始

予約スイッチ 予約入/切 を押す

予約１の運転パターンを点滅表示し、５秒後に確定します。設定された曜日の運転開始時刻に自動的に運転を開始し、運転終了時刻に運転を停止します。

予約スイッチを押すたびに予約表示が切り替わります。（５秒以上スイッチ操作がないと予約の選択が確定され、自動運転が始まります）

予約１が有効	予約２が有効	両方有効	予約無し
予約1 →	予約2 →	予約1 予約2 →	

注意　**現在時刻が設定されていないと自動運転はできません。**

自動運転停止

予約スイッチ 予約入/切 を押す

自動運転を終了します。また、**運転スイッチ**を押すと自動運転を終了し、機器の運転を停止します。
運転スイッチを押して自動運転を終了した場合は、次に運転スイッチを入れたときに自動運転が始まります。

自動運転の翌日キャンセル

自動運転中に**予約スイッチ** 予約入/切 を２秒以上長押しすると翌日の予約がキャンセルされます。
翌日の予約曜日表示が消えて、翌日の自動運転は行われません。
翌日キャンセルを取り消す場合は、**予約スイッチ**を押して自動運転を終了したあと、再度**予約スイッチ**を押して自動運転の設定をしてください。

注意　**自動運転のみ翌日キャンセルが可能です。手動運転、24 時間運転は翌日キャンセルできません。**
翌日キャンセルを２日続けて設定することはできません。

自動運転中のリモコン表示について

自動運転は、予約１のみ、予約２のみ、予約１と予約２両方の３通りが選べます。
自動運転中のリモコンは現在曜日の運転内容を表示します。

＜例＞

【予約１】火曜から土曜
6:00～9:00、17:00～22:00

【予約２】土曜と日曜
8:00～11:00、15:00～21:30

予約１と予約２を＜例＞のように設定した場合で、自動運転の予約１、２の両方を選んだ場合の、曜日ごとの運転時間とリモコン表示は次のようになります。

（火～金曜）
予約１の内容が有効
6:00～9:00、17:00～22:00

（土曜）
予約１、２両方有効
6:00～11:00、15:00～22:00

（日曜）
予約２の内容が有効
8:00～11:00、15:00～21:30

（月曜）
予約１、２ともに設定がないので運転しません

予約の設定

曜日と１日の暖房運転時間を設定できます。
予約を変更するときも同じ手順です。

予約設定のしかた

1．予約時刻合わせスイッチ を押す

予約の設定内容が表示され、予約表示が点滅します。

2．ジョグダイヤル を回して予約を選択する

予約１か予約２を選択します。

3．予約時刻合わせスイッチ を押す

選択された予約の設定内容が表示され、
予約曜日表示が点滅します。

4．ジョグダイヤル を回して希望の曜日に移動して押す

複数の曜日を選択できます。

5．予約時刻合わせスイッチ を押す

午前０時の目盛りが点滅し、時刻表示部に点滅部分の時刻が表示されます。

簡易タイマーリモコン

リモコン表示説明

運転時刻設定表示は 24 時間を 30 分ごとに区切っています。

6. ジョグダイヤル を回して運転開始時刻まで移動する

右に回すと右回りに、左に回すと左回りに移動します。

7. ジョグダイヤル を押しながら運転終了時刻まで回す

ジョグダイヤルを押すと運転時刻設定表示が点灯します。

8. 6、７を繰り返して運転時刻を設定する

24 時間の目盛りの中で何度でも運転開始と運転終了を設定できます。

9. 予約時刻合わせスイッチ 予約時刻合わせ を押す

予約設定が確定します。

注意　10 秒以上操作しないでいると、自動的に確定になります。

その他の設定

24 時間運転、24 時間運転温度設定、運転スイッチ切時の時計表示の有無を設定できます。24 時間運転は、自動運転、手動運転が OFF の時に設定した温度で運転します。

《 24 時間運転 》

1. メニュースイッチ （メニュー） を押す

24 時間運転設定が点滅します。

2. ジョグダイヤル を回して 24 時間運転モードを設定する

ON（表示は on）：24 時間運転をする
OFF（表示は of）：24 時間運転をしない
出荷時は OFF に設定しています。

《 24 時間運転温度設定 》

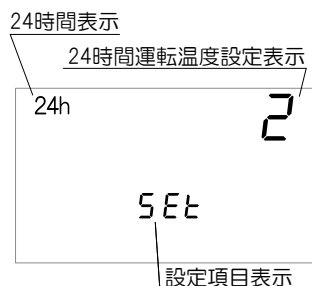
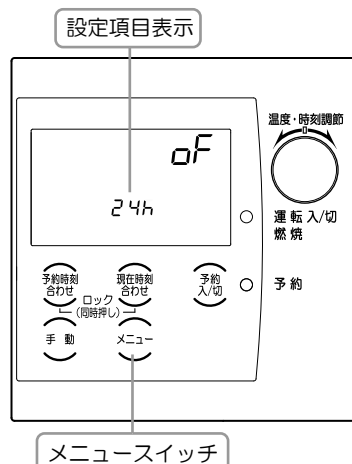
3. メニュースイッチ （メニュー） を押す

24 時間運転設定を ON に設定した場合は、24 時間表示が点灯し、次の 24 時間運転温度設定に移ります。
OFF に設定した場合は、6. の時刻表示設定に移ります。

4. ジョグダイヤル を回して 24 時間運転温度を設定する

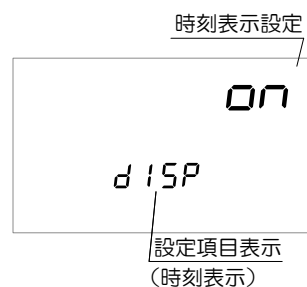
温水温度は 1 ～ 6 の 6 段階で設定できます。
右に回すと 1 ずつ上がります。
左に回すと 1 ずつ下がります。
出荷時は 2 に設定しています。

温度設定と温水温度のめやす

設定値	1	2	3	4	5	6
温度（℃）	10	35	40	45	50	60

《 時計表示の有無 》

5. メニュースイッチ メニュー を押す

時刻表示設定に変わります。

6. ジョグダイヤル を回して時刻表示を設定する

ON（表示は on）：運転切時に時刻表示をする
OFF（表示は of）：運転切時に時刻表示しない
出荷時は ON に設定しています。

7. メニュースイッチ メニュー を押す

設定モードが終了します。

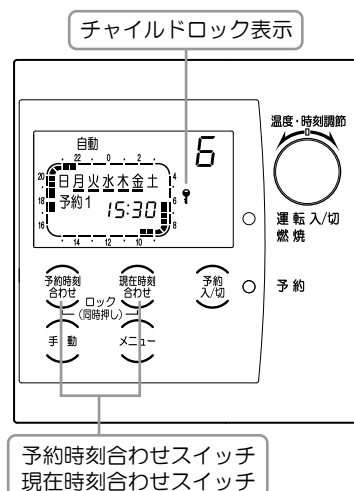
チャイルドロック

子供によるリモコンの誤操作を防ぐ為、運転スイッチ以外の操作をロックします。

チャイルドロックをする

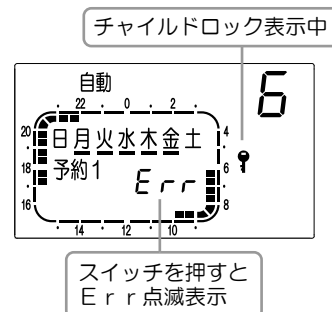
予約時刻合わせスイッチ（予約時刻合わせ）と

現在時刻合わせスイッチ（現在時刻合わせ）を同時に長押し

チャイルドロック表示が点灯してリモコン操作ができなくなります。
運転スイッチ以外のスイッチを押すと、ピピピッという警告音と同時に、数秒間「Ｅｒｒ」が点滅表示します。

チャイルドロックを解除する

予約時刻合わせスイッチ（予約時刻合わせ）と

現在時刻合わせスイッチ（現在時刻合わせ）を同時に長押し

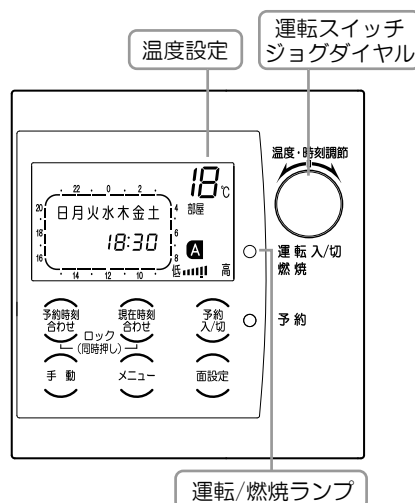
チャイルドロック表示が消灯してリモコン操作が可能になります。

簡易タイマーリモコン

使用方法（タイマーリモコン）

運 転 方 法

運転スイッチ を押す

運転 / 燃焼ランプが緑に点灯し、温度設定、現在時刻が表示されます。
バーナー燃焼中は運転 / 燃焼ランプが赤く点灯します。

運転スイッチを入れただけでは暖房運転しません。
手動運転、**自動運転**のいずれかの設定が必要です。
それぞれ組み合わせての運転も可能です。

暖房運転の種類

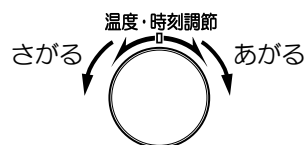
・**手動運転**　☞ 31 ページ
すぐ暖房運転をする場合に使用します。
暖房時間を 1 時間から 24 時間まで 1 時間単位で設定できます。設定した時間を経過すると自動で暖房が切れます。
（24 時間に設定した場合は連続運転となり、運転を切るまで暖房運転します）

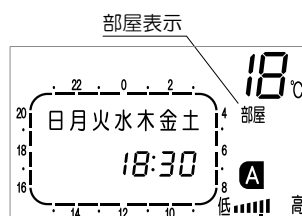
・**自動運転**　☞ 32 ページ
あらかじめ設定した時刻に自動で暖房運転をします。
１日の暖房運転の時間を 30 分単位で設定できます。二通りの設定が登録できるので、曜日で分けた運転が可能です。

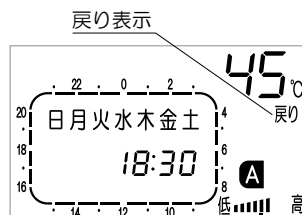
・**24 時間運転**　☞ 36 ページ
手動運転、自動運転の暖房停止時間に、低い温度で運転を続けたい場合に使用します。
手動運転で 24 時間に設定した場合とは異なります。

温度調節の方法

ジョグダイヤル を回して温度を設定する

温度・時刻調節
さがる　あがる

【部屋温度の場合】

部屋温度は 10 ～ 35℃の１℃きざみで設定できます。
右に回すと１℃ずつ上がります。
左に回すと１℃ずつ下がります。
出荷時は 18℃に設定しています。
その他の設定（P36）で高温設定を「ON」にすると 50℃まで設定できます。

【戻り温度の場合】

戻り温度は 10 ～ 50℃の１℃きざみで設定できます。
右に回すと１℃ずつ上がります。
左に回すと１℃ずつ下がります。
出荷時は 45℃に設定しています。
その他の設定（P36）で高温設定を「ON」にすると 70℃まで設定できます。

注意

- 温度制御の「部屋」､「戻り」の選択は､その他の設定（P34）で変更できます。
- 設定温度はシステムに合った温度に設定し、むやみに高くしないでください。
- 戻り温度の設定については、お買い上げの販売店または工事店の指導を受けてください。低温やけどのおそれがあります。
- 温水温度は、配管の長さや気温により変わります。
  また、一定の温度設定でも使用中に温水温度が上下する場合があります。
  めやすとしてお使いください。

＜タイマーリモコンを２個使用している場合の注意＞

それぞれのリモコンで温度設定、予約運転などを設定できますが、運転スイッチは連動しており、片方のリモコンをつければ、もう一つのリモコンも同時に運転スイッチが入ります。
片方の運転スイッチを切れば、もう一方のリモコンも切れます。
一方で暖房しているときは､片方の運転スイッチを切らないように注意してください。

手動運転（暖房を使いたいとき）

設定した時間だけ暖房運転します。設定時間が過ぎると暖房運転を停止します。

手動運転開始

1. 手動スイッチ 手 動 を押す

手動表示と運転時間が点滅し、運転時間表示が点灯します。

2. ジョグダイヤル を回して運転時間を設定する

1 ～ 24 hまでの1時間単位で設定できます。
出荷時は 24 hに設定しています。

温度・時刻調節
減る　増える

注意　**24 hと設定した場合は連続運転になります。**

3. 手動スイッチ 手 動 を押す

運転時間が確定となり、手動運転が始まります。
設定時間が過ぎると手動運転を終了します。

手動表示　温度設定表示
運転時間表示（4hに設定した場合）
手動
18℃
部屋
日月火水木金土
15:30
A
低　高
現在時刻の目盛りが点滅する

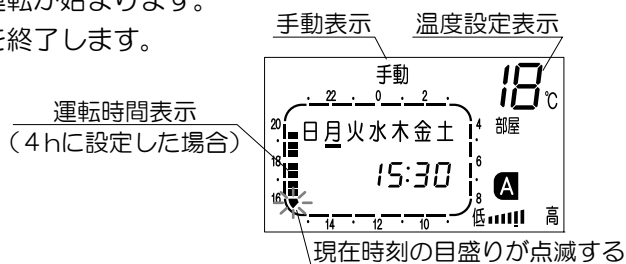
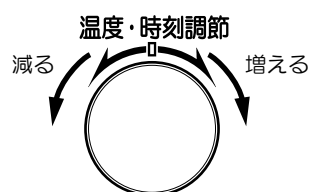
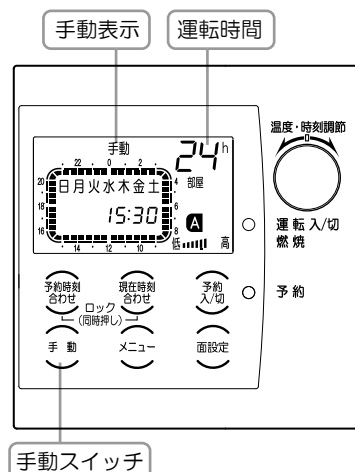
手動運転停止

手動スイッチ 手 動 を押す

手動運転を終了します。
また、**運転スイッチ**を押すと手動運転を終了し、機器の運転を停止します。

自動運転中に手動運転をすると、手動運転終了後に自動運転に戻ります。

注意
- **現在時刻が設定されていないと手動運転はできません。**
- **手動運転中は現在時刻の変更はできません。**

タイマーリモコン

自動運転（予約した時間に暖房するとき）

あらかじめ設定した予約パターンに沿って暖房運転します。予約の設定方法は 32 ページを参照してください。予約の設定がされていないと自動運転できません。

自動表示　予約ランプ　予約表示　予約スイッチ

自動運転開始

予約スイッチ（予約入/切）を押す

予約１の運転パターンを点滅表示し、５秒後に確定します。設定された曜日の運転開始時刻に自動的に運転を開始し、運転終了時刻に運転を停止します。

予約スイッチを押すたびに予約表示が切り替わります。（５秒以上スイッチ操作がないと予約の選択が確定され、自動運転が始まります）

予約１が有効	予約２が有効	両方有効	予約無し
予約1 →	予約2 →	予約1 予約2 →	

自動表示　予約表示

注意　**現在時刻が設定されていないと自動運転はできません。**

自動運転停止

予約スイッチ（予約入/切）を押す

自動運転を終了します。また、**運転スイッチ**を押すと自動運転を終了し、機器の運転を停止します。
運転スイッチを押して自動運転を終了した場合は、次に運転スイッチを入れたときに自動運転が始まります。

自動運転の翌日キャンセル

自動運転中に**予約スイッチ**（予約入/切）を２秒以上長押しすると翌日の予約がキャンセルされます。
翌日の予約曜日表示が消えて、翌日の自動運転は行われません。
翌日キャンセルを取り消す場合は、**予約スイッチ**を押して自動運転を終了したあと、再度**予約スイッチ**を押して自動運転の設定をしてください。

注意　**自動運転のみ翌日キャンセルが可能です。手動運転、24 時間運転は翌日キャンセルできません。**
翌日キャンセルを２日続けて設定することはできません。

自動運転中のリモコン表示について

自動運転は、予約１のみ、予約２のみ、予約１と予約２両方の３通りが選べます。
自動運転中のリモコンは現在曜日の運転内容を表示します。

＜例＞

【予約１】火曜から土曜
6:00〜9:00、17:00〜22:00

【予約２】土曜と日曜
8:00〜11:00、15:00〜21:30

予約１と予約２を＜例＞のように設定した場合で、自動運転の予約１、２の両方を選んだ場合の、曜日ごとの運転時間とリモコン表示は次のようになります。

（火〜金曜）
予約１の内容が有効
6:00〜9:00、17:00〜22:00

（土曜）
予約１、２両方有効
6:00〜11:00、15:00〜22:00

（日曜）
予約２の内容が有効
8:00〜11:00、15:00〜21:30

（月曜）
予約１、２ともに設定がないので運転しません

予約の設定

曜日と１日の暖房運転時間を設定できます。
予約を変更するときも同じ手順です。

予約設定のしかた

1. 予約時刻合わせスイッチ を押す

予約の設定内容が表示され、予約表示が点滅します。

2. ジョグダイヤル を回して予約を選択する

予約１か予約２を選択します。

3. 予約時刻合わせスイッチ を押す

選択された予約の設定内容が表示され、
予約曜日表示が点滅します。

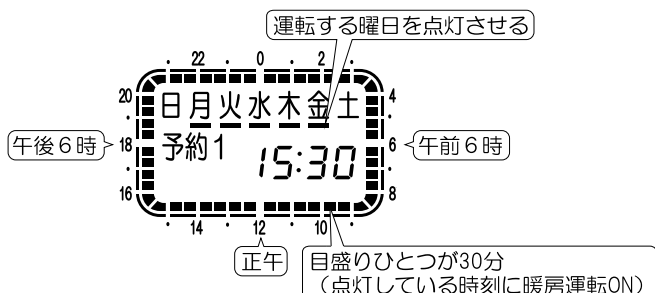
4. ジョグダイヤル を回して希望の曜日に移動して押す

複数の曜日を選択できます。

5. 予約時刻合わせスイッチ を押す

午前０時の目盛りが点滅し、時刻表示部に点滅部分の時刻が表示されます。

リモコン表示説明

運転時刻設定表示は 24 時間を 30 分ごとに区切っています。

6. ジョグダイヤル を回して運転開始時刻まで移動する

右に回すと右回りに、左に回すと左回りに移動します。

7. ジョグダイヤル を押しながら運転終了時刻まで回す

ジョグダイヤルを押すと運転時刻設定表示が点灯します。

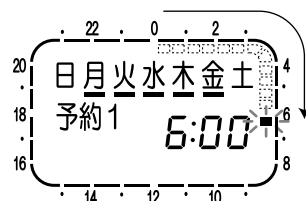
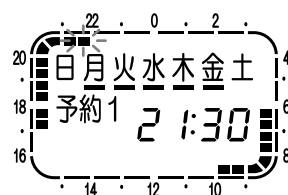
8. 6、7を繰り返して運転時刻を設定する

24 時間の目盛りの中で何度でも運転開始と運転終了を設定できます。

9. 予約時刻合わせスイッチ 予約時刻合わせ を押す

予約設定が確定します。

注意　10 秒以上操作しないでいると、自動的に確定になります。

タイマーリモコン

その他の設定

缶体保温温度、温度制御選択設定、24 時間運転、24 時間運転温度設定、運転スイッチ切時の時計表示の有無を設定できます。24 時間運転は、自動運転、手動運転が OFF の時に、設定した温度で運転します。

設定項目表示

メニュースイッチ

《 缶体保温温度 》

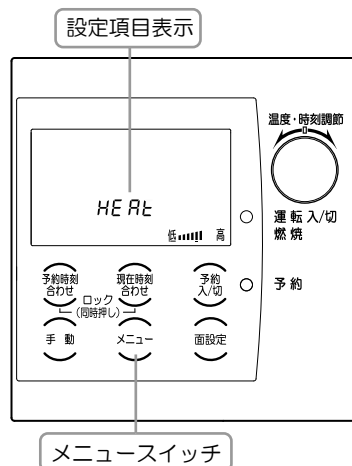
1. メニュースイッチ メニュー を押す

缶体保温温度表示が点滅します。

2. ジョグダイヤル を回して缶体保温温度を設定する

保温温度は１～８の８段階で設定できます。
右に回すと１ずつ上がります。
左に回すと１ずつ下がります。
出荷時は６に設定しています。

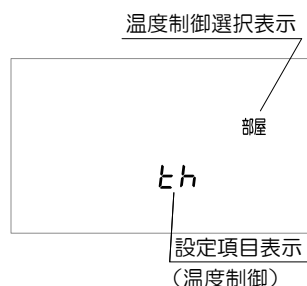
温度設定と保温温度のめやす

段階	1	2	3	4	5	6	7	8
温度（℃）	10	35	40	45	50	60	70	80

《 温度制御選択 》

3. メニュースイッチ メニュー を押す

温度制御選択表示が点滅します。
降雪センサーを使用している場合は、5. の 24 時間運転の設定に移ります。

4. ジョグダイヤル を回して温度制御選択を設定する

戻りサーミスタを設置している場合は温度制御を部屋温度と戻り温度のどちらでするかを選択できます。

注意 戻りサーミスタが設置されていない状態で「戻り」を選択するとエラーが表示されます。
その場合は温度制御選択を「部屋」に設定しなおしてください。

《 24 時間運転 》

5. メニュースイッチ メニュー を押す

24 時間運転設定が点滅します。

6. ジョグダイヤル を回して 24 時間運転モードを設定する

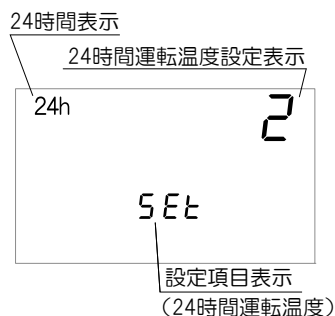
ON（表示は on）：24 時間運転をする
OFF（表示は of）：24 時間運転をしない
出荷時は OFF に設定しています。

《 24 時間運転温度 》

7. メニュースイッチ メニュー を押す

24 時間運転設定を ON に設定した場合は、24 時間表示が点灯し、次の 24 時間運転温度設定に移ります。
OFF に設定した場合は、10. の時刻表示設定に移ります。

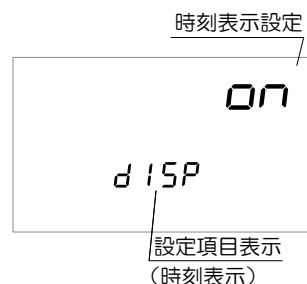
8. ジョグダイヤル を回して 24 時間運転温度を設定する

温水温度は１～６の６段階で設定できます。
右に回すと１ずつ上がります。
左に回すと１ずつ下がります。
出荷時は２に設定しています。
前頁の缶体保温温度の表を参照してください。

《 時計表示の有無 》

9. メニュースイッチ メニュー を押す

時刻表示設定に変わります。

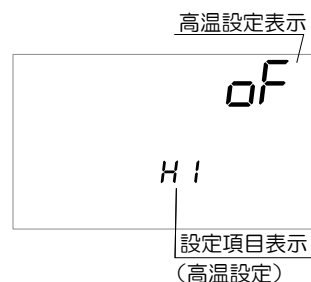
10. ジョグダイヤル を回して時刻表示を設定する

ON（表示は on）：運転切時に時刻表示をする
OFF（表示は of）：運転切時に時刻表示しない
出荷時は ON に設定しています。

《 高温設定 》

11. メニュースイッチ メニュー を押す

高温設定に変わります。

12. ジョグダイヤル を回して高温設定を設定する

高温設定を可にすると、部屋温度は 50℃まで、戻り温度は 70℃までの設定が可能になります。
ON（表示は on）：高温設定を可にする
OFF（表示は of）：高温設定を不可にする
出荷時は OFF に設定しています。

13. メニュースイッチ メニュー を押す

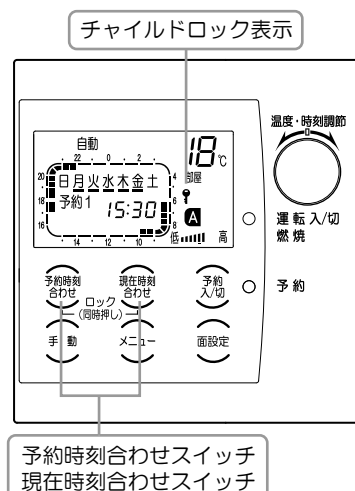
設定モードが終了します。

チャイルドロック

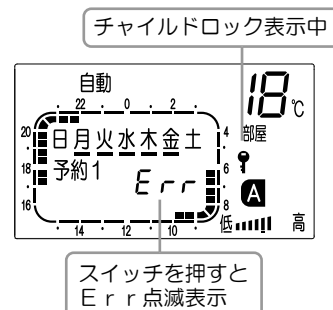
子供によるリモコンの誤操作を防ぐ為、運転スイッチ以外の操作をロックします。

チャイルドロックをする

予約時刻合わせスイッチ（予約時刻合わせ）と
現在時刻合わせスイッチ（現在時刻合わせ）を同時に長押し

チャイルドロック表示が点灯してリモコン操作ができなくなります。
運転スイッチ以外のスイッチを押すと、ピピピッという警告音と同時に、数秒間「Ｅｒｒ」が点滅表示します。

チャイルドロックを解除する

予約時刻合わせスイッチ（予約時刻合わせ）と
現在時刻合わせスイッチ（現在時刻合わせ）を同時に長押し

チャイルドロック表示が消灯してリモコン操作が可能になります。

面 設 定

暖房する面の選択をします。
B面の設定があり、リモコンが１個の場合のみ使用できます。

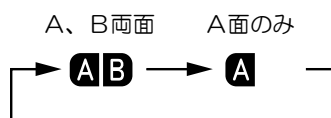
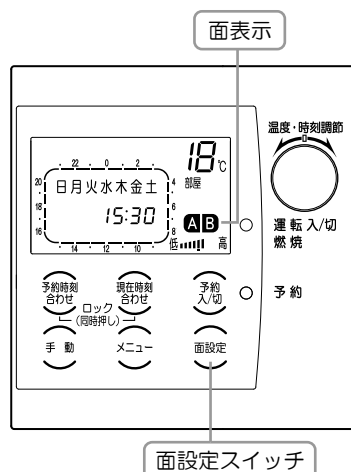
面の選択

面設定スイッチ（面設定）を押す

暖房する面を選択します。
面設定スイッチを押すたびに面表示が切り替わります。

A、B両面　　A面のみ

注意　B面のみの設定はできません。

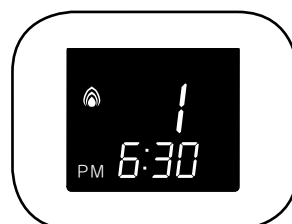
タイマーリモコン

使 用 方 法（各リモコン共通）

凍 結 予 防

凍結のおそれのあるときは、下記のいずれかの方法で凍結予防を行なってください。

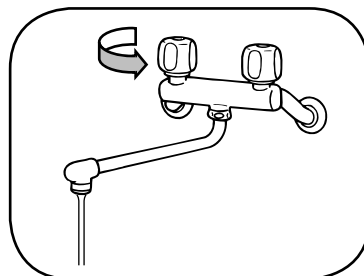
【 給湯用として使用の場合 】

凍結予防運転による方法

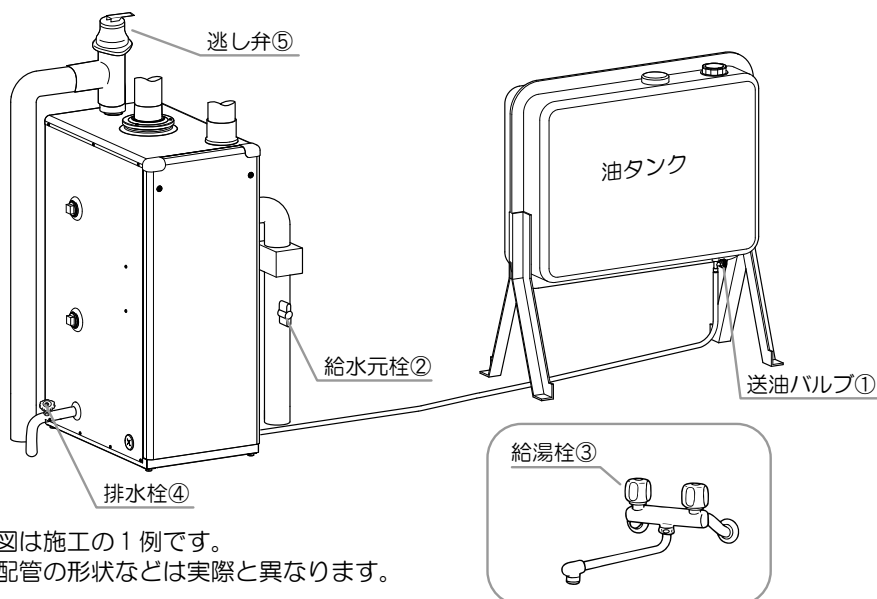
運転スイッチを入れて、温度設定を１にしてください。自動的にバーナーが燃焼し、熱交換器内の水を保温します。

注意

・ 電源プラグは絶対に抜かないようにしてください。
・ 外部配管内の水の凍結予防はできませんので、凍結しないよう断熱材または電気ヒーターで十分保温処置をしてください。
・ 外部配管内の水が凍結するおそれのある場合は、通水による方法を行なってください。

通水による方法（断水時には効果がありません）

運転を停止して送油バルブを閉めてください。給湯栓を開いて、浴槽に少量の水（１分間に 400cc 程度、ただし特に寒い日には多めに）を流し放しにしておいてください。たまった水は雑用水としてご利用ください。

水抜きによる方法

（1）運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。
（2）送油バルブ①を閉めてください。
（3）給水元栓②を閉めてください。
（4）すべての給湯栓③、排水栓④を開けてください。
（5）逃し弁⑤のつまみを上に上げてください。
（6）水を抜いた後、排水栓④、給湯栓③、逃し弁⑤を閉めてください。

図は施工の１例です。
配管の形状などは実際と異なります。

【 暖房用として使用の場合 】

機器及び配管経路の凍結を予防するために、純正不凍液を適正な濃度にして使用してください。
温水暖房システムには暖房用不凍液を、路面融雪システムには融雪用不凍液を、それぞれ使用してください。凍結すると損傷・水漏れの原因になります。凍結させて機器や配管を損傷させると高額の修理費用（有料）がかかる場合があります。
また、純正不凍液以外の不凍液はカビや錆などの発生により機器やシステムの寿命を短くすることがありますので使用しないでください。

使用上の注意

- 排気筒は高温です。やけどに注意してください。
- 機器点火時にテレビ・ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがありますが、点火放電によるもので異常ではありません。テレビ・ラジオなどは機器から３m 以上離し、コンセントを別回路とするとノイズ（雑音）を減少させることができます。
- 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。
  雷が発生したときは、すみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

長期間使用しないとき

点検時、お手入れ時以外は電源プラグを抜かないでください。
運転スイッチを切り、電源プラグを差したままにしておいてください。約 15 日ごとに数秒間自動的に循環ポンプを動かして、循環ポンプの固着を予防します。

安 全 装 置

安全装置が作動した場合、原因を取り除いて、運転スイッチを入れなおしてください。

●対震自動消火装置（感震器）

運転中に機器が強い振動や衝撃を受けたとき、火災などの危険を防ぐために運転を停止します。

●燃焼制御装置（炎検出器）

燃料切れなどの点火不良や、燃焼中に消火したとき、炎検出器が異常を感知して燃料を遮断し機器の運転を停止します。

●停電安全装置

停電になると自動的に消火します。再通電した後、運転スイッチを入れなおしてください。

●過熱防止装置

温度検出器の故障で熱交換器の温度が異常に上昇する前に、ハイカットまたは、過熱防止サーミスタが働き、すべての動作を停止します。電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの販売店に原因の点検・修理を依頼してください。

その他の装置

●温度ヒューズ

熱交換器底の温度が異常に上昇したとき、温度ヒューズが断線し運転を停止します。電源プラグをコンセントより抜いてお買い上げの販売店に原因の点検・修理を依頼してください。

日常の点検、手入れ

■ 点検、手入れのときの注意

●点検、手入れを行なう前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●点検、手入れの際、次のことは絶対に行なわないでください。

・対震自動消火装置（感震器）の取りはずし及び分解

・温度センサーの取りはずし

・電磁ポンプの圧力調節

■ 点検、手入れの必要項目、時期、手法

●周囲の可燃物（日常、常に点検）

燃えやすいものが落ちたり、ふれたりするおそれがないことを確認してください。火災の危険がありますので、周りに可燃物を置かないでください。

●ほ　こ　り（日常、常に点検）

機器の内部にたまったほこりや汚れにより、思わぬ事故になる場合があります。掃除をしてください。

●油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常、常に点検）

日常、油漏れや油のたまり、油のにじみがあるかどうかを調べるよう習慣づけ、給油のときにこぼれた灯油はよくふき取ってください。万一油漏れによって油のたまり、油のにじみがあるときは、運転を停止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

●送油管の点検（日常、常に点検）

送油管から油漏れがないか点検し、油漏れがあれば運転を停止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

●ゴム製送油管の点検（交換の目安、2～3年に1度）

ゴム製送油管が劣化してひび割れていないか確認してください。ひび割れは見ただけでは見つけにくいので手で少し曲げて確認してください。ひび割れていたら交換してください。　※屋外では使用禁止です。

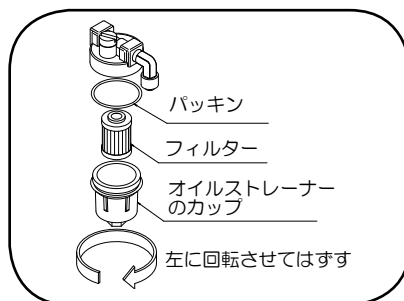
●油タンク内の水（給油時に点検）

油タンクに水やゴミがたまっているようであれば取り除いてください。

●水　漏　れ（日常、常に点検）

熱交換器・配管などから水漏れがないことを確認してください。水漏れがあればお買い上げの販売店にご連絡ください。

●オイルストレーナー（定期的に点検）

オイルストレーナーに水、ゴミなどがたまると電磁ポンプから振動音が出たり、点火不良や燃焼不良をおこすことがあります。定期的にオイルストレーナーの掃除をしてください。

●給排気筒（月に１回程度、暖房シーズン初め）

給排気筒がはずれたままの状態、またはつまったり、ふさがれたままの状態で使用しないでください。排ガスが室内に漏れて危険です。月に１回以上は、すすなどのつまりがないか点検してください。給排気筒の周辺の樹木など、可燃物は取りのぞいてください。特に暖房シーズン初めには、異物でふさがれていないかどうか点検してください。

●逃　し　弁（１ヶ月に１回）

逃し弁は配管の錆や、水あかなどによって、弁が固着することがあります。１ヶ月に１回の割合で逃し弁のレバーを数回上方に引き上げて、弁が固着していないかを確認してください。

●循環水の点検（暖房シーズン初め）

・循環水が不足していないか、シーズンの初めに点検し、不足している場合は、適正な濃度の不凍液を補給してください。また、循環経路のフィルターを掃除してください。
・循環水として使用している不凍液は２～３年程度で防錆・防腐効果がなくなりますので、専門業者に不凍液の濃度・ペーハー（pH）の点検を依頼してください。不凍液を交換する場合は、配管、熱交換器内部の洗浄を行なってください。
　また、不凍液を廃棄する場合は、必ず産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
・循環ポンプが正常に運転するか確認し、異常があれば販売店にご相談ください。

●接　　　地（日常、常に点検）

機器にアース線が確実に接続されているか確認してください。

定期点検

●定期点検に関する注意

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。１年に１回程度、お買い上げ店、または修理資格者〔(一財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行なう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる販売店などに点検依頼されることをおすすめします。

法 定 点 検

▼本製品は、『消費生活用製品安全法（消安法）』の長期使用製品安全点検制度で指定される特定保守製品です。

特定保守製品とは

…「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況などからみて、その適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第２条第４項）」として指定された製品のことです。

■ 点検期間になりましたら点検を受けてください

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品毎に設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者に責務として求められます（消安法第 32 条の 14)。本製品に表示している法定点検期間になりましたら、忘れずに点検を受けてください（点検は有料となります)。

なお、点検後も本製品のご使用を継続される場合には、任意の定期点検（有料）をこまめ（１～２年ごと）に受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。

※法定点検は、その時点での点検基準に適合しているかの確認であり、その後の安全を保証するものではありません。

■ 所有者登録（必ず登録してください）

特定保守製品の所有者は、この製品の製造（輸入）事業者に法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第 32 条の８第１項及び第２項)。**製品に同梱している｢所有者票」に記入・投函していただくことにより登録となります。確実に「所有者票」に記入・投函をしてください。登録をされないと点検通知が届きません。**

ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法及び当社規定による適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコールなど製品の安全に関するお知らせ以外には使用いたしません。

所有者情報に変更があった場合、この製品の製造（輸入）事業者に変更の連絡をすることが求められます（消安法第 32 条の８第２項)。**引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、「所有者票」に記載している問合せ連絡先にご連絡ください。**

ご連絡をいただけない場合、法定点検やリコールなどの製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

■ 所有者票記入例

所有者票は片面が黄色で片面が白く、はがきを縦に２枚並べた大きさの紙です。
お客様記入欄に記入後、ミシン目で切り離して投函してください。
残り半分はお客様の控えです。取扱説明書と一緒に保管してください。

お客様　記入欄　　返信用

もれなくご記入の上、『個人情報保護シール』を貼付位置ガイドに合わせて貼付して投函してください。

貼付位置ガイド→

※所有者情報は個人情報保護法及び消安法に基づき管理し、法定点検、リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。
※賃貸物件の場合は、所有者に代わり、管理会社の連絡先の記入でも可。

フリガナ	コウサン	タロウ
所有者の氏　名	（姓）工産	（名）太郎　様
	（管理会社名）	
所有者の住　所	〒 752－0977	
	山口　都・道・府・県（県）	下関　市（市）
	長府東侍町 1－5	
	アパート・マンション名	号室
	電話番号　083 － 245 － 5441	
製品の設置場所 所有者の住所と違う場合はご記入ください。	〒 □□□－□□□□	
	都・道・府・県	市
	アパート・マンション名	号室

［アンケート］
この製品の引渡し時に本制度について事業者から説明を受けましたか？　☑はい　□いいえ

※この所有者票の記入者　☑お客様　□代行者（業者）

所有者または、管理会社のお名前、ご住所、電話番号を記入してください。

所有者の住所と違う場所に給湯機を設置している場合は、この欄に設置している住所を記入してください。

特定保守製品についての説明を受けていたら「はい」に、受けていない場合は「いいえ」にチェックをしてください。

お客様が記入された場合は「お客様」にチェックをしてください。

■ 法定点検の通知

所有者登録をいただいた方に、点検期間開始前に点検を通知いたします（消安法第32条の12)。
法定点検の期間は、製品本体への表示、または製品に同梱している「所有者票（お客様控え)」をご覧ください。

■ 法定点検の実施

法定点検は、長府工産または長府工産が委託した事業者が行います。
法定点検の内容は、特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。点検基準は消安法省令により、製品区分ごとに点検項目、点検内容が定められています。
点検を行いましたら、点検結果表にて点検結果をお知らせいたします。
点検の結果、不適合となった場合には、可能な限りの選択肢をお知らせしますが、整備（修理を含む）をして使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。

■ 法定点検の料金

点検費用は、お客様にご負担いただきます。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用（有料）が発生いたします。なお、点検料金の設定の基準は、下記のアドレスからご覧いただけます。

http://www.chofukosan.com

具体的な点検料金につきましては、次ページの「■点検を行う事業所の配置／▼ お問い合わせ先」にてご確認いただけます。

■ 任意の定期点検

製品を安心して長くご使用いただくために、法定点検の他に定期的な点検（有料）をお奨めします。定期点検（有料）に関する項目をご参照ください。

■ 設計標準使用期間

本製品は、設計標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火•けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです（消安法第32条の3）。**「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください。**（無料修理保証期間につきましては無料修理保証書をご参照ください）

●算定の根拠

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

・始　期＝製造年月

・終　期＝JIS S 2071に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験などを行い、その結果算出された数値などに基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

注　意：使用頻度、使用環境、設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または業務用など、本来の目的以外の方法で使用された場合は、記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、下記の「お問い合わせ先」にご連絡ください。

標準的な使用条件（給湯）		
項　目		条　件
家族構成		4人世帯
用途		台所、洗面、シャワー、湯はり
使用環境	気温／湿度	20℃／65%
	季節	中間期（春、秋）
使用条件	給水温度	15 ℃
	出湯温度	40 ℃
使用頻度	1日使用量	456 L
	1日使用時間	1時間
	1年使用日数	365日

■ 点検を行う事業所の配置

▼お問い合わせ先：**お客様窓口／フリーダイヤル 0120−495−441**

▼受付時間：**平日9：00～17：00（日・祝・盆・年末年始を除く）**

▼事業所：各地区の点検などに関する連絡は、裏表紙に記載の事業所、及び全国にあるサービス代行店で対応致します。また、下記アドレスからもご覧いただけます。インターネットでご確認できない場合は弊社までご連絡ください。

http://www.chofukosan.com

■ 法定点検の結果、必要と見込まれる整備用部品の保有期間

整備用部品の保有期間

●点火・消火装置に関する部品…………………製造打切後 13 年
（点火プラグ・イグナイターなど）

●安全装置に関する部品…………………………製造打切後 13 年
（感震器・ハイカット・温度検出器・炎検出器など）

■ 補修部品供給期間

補修部品（整備用部品含む）の供給期間は製品の製造年より 13 年間です。

■ 本製品の日常的に行うべき点検・お手入れ

製品を安全にご使用いただくために、月に 1 回程度は、お客様で日常的に点検やお手入れをしてください。

点検お手入れ前のご注意

●電源プラグを抜いてください。

●製品の使用直後は製品や製品内のお湯が高温になっていますので、やけど予防のため製品が冷えてから点検・お手入れをしてください。

点検・お手入れの内容

●日常の点検・お手入れに関する項目及び、安全上の注意に関する項目をご参照ください。

※次のような症状があれば経年劣化の兆候と考えられますので、「点検を行う事業所の配置／お問い合わせ先」や、裏表紙に記載の事業所までご連絡ください。

▼運転中に機器から異常音が聞こえる　▼機器外観に異常な変色や傷がある

▼機器・配管から水漏れがある　▼給排気トップにススがついている

故障・異常の見分け方と処置方法

故障や異常を感じたときは使用をやめて、修理を依頼される前に次表により原因を調べて処置をしてください。原因のわからないときは、そのままにしてお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

<table>
<tr><th>状　　況</th><th>原　　因</th><th>処　置　方　法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">電源が入っていない。</td><td>停電している。</td><td>再通電するのを待ってください。</td></tr>
<tr><td>電源プラグが抜けている。</td><td>電源プラグを差してください。</td></tr>
<tr><td>制御基板のヒューズが溶断している。</td><td rowspan="2">お買い上げの販売店に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>運転スイッチを入れても作動しない。</td><td>制御基板の故障。</td></tr>
<tr><td>操作を受け付けない。</td><td>チャイルドロックがかかっている。</td><td>チャイルドロックを解除してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">いったん正常に運転するが、
約 30 秒後に停止する。</td><td>油切れまたは送油バルブが閉じている。</td><td>給油してください。
送油バルブを開いてください。</td></tr>
<tr><td>送油経路の空気抜きが不十分。</td><td>空気抜きをしてください。</td></tr>
<tr><td>オイルストレーナーのゴミづまり。</td><td>ゴミを取り除いてください。</td></tr>
<tr><td>油タンクに水がたまっている。</td><td>タンクの水を抜いてください。</td></tr>
<tr><td>途中で温水温度が低下する。</td><td>油切れ。</td><td rowspan="2">給油してください。</td></tr>
<tr><td>「ＯＩＬ」または　が表示される。※</td><td>油が少なくなっている。</td></tr>
<tr><td>排気筒からすすが出る。</td><td rowspan="6"></td><td rowspan="5">ただちに使用を中止し、次の手順に従ってください。
１．給湯栓を閉める
（給湯用として使用している場合）
２．運転スイッチを「切」にする
３．送油バルブ、給水元栓を閉める
４．お買い上げの販売店に連絡する</td></tr>
<tr><td>燃焼ガスの臭いがきつい。</td></tr>
<tr><td>油漏れしている。</td></tr>
<tr><td>水漏れしている。</td></tr>
<tr><td>異常な燃焼音がする。</td></tr>
<tr><td>エラー表示が出る。</td><td>モニター表示による処置方法（次頁）を参照してください。</td></tr>
</table>

※減油感知器を取り付けている場合

■モニター表示による処置方法

リモコンのエラー表示の内容により、故障原因を判断することができます。販売店に連絡していただく場合はエラー表示の内容もお知らせください。

<table>
<tr><th>エラー番号</th><th>故 障 内 容</th><th>処 置 方 法</th></tr>
<tr><td>００３</td><td>停電</td><td>運転スイッチを入れなおしてください。</td></tr>
<tr><td>１００</td><td>電源周波数の異常</td><td>お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>１１０</td><td>着火不良、不着火</td><td>運転スイッチを入れなおしてください。
繰り返し表示されるときはお買い上げの販売店または弊社に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>１２０</td><td>途中失火、油切れ</td><td>給油して運転スイッチを入れなおしてください。</td></tr>
<tr><td>１４０</td><td>温度ヒューズの断線</td><td rowspan="9">お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>１４１</td><td>ハイリミットの作動</td></tr>
<tr><td>１４４</td><td>温度ヒューズ回路の異常</td></tr>
<tr><td>１５１</td><td>ハイカットの作動</td></tr>
<tr><td>１６０</td><td>過熱防止サーミスタの作動</td></tr>
<tr><td>１６４</td><td>戻りサーミスタＡの異常</td></tr>
<tr><td>１６５</td><td>戻りサーミスタＢの異常</td></tr>
<tr><td>１６６</td><td>部屋サーミスタＡの異常</td></tr>
<tr><td>１６７</td><td>部屋サーミスタＢの異常</td></tr>
<tr><td>２２０</td><td>対震自動消火装置（感震器）の作動</td><td>機器に異常がなければ運転スイッチを入れなおしてください。</td></tr>
<tr><td>２３４</td><td>対震自動消火装置（感震器）回路の異常</td><td rowspan="4">お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>３１５</td><td>部屋サーミスタＡの断線、短絡</td></tr>
<tr><td>３１７</td><td>部屋サーミスタＢの断線、短絡</td></tr>
<tr><td>３３１</td><td>缶体サーミスタの異常</td></tr>
<tr><td>３５５</td><td>戻りサーミスタＡの断線、短絡</td><td rowspan="2">温度制御選択を確認してください。（P36 参照）
戻りサーミスタを設置していない場合は、温度制御選択では「部屋」を選択してください。</td></tr>
<tr><td>３６５</td><td>戻りサーミスタＢの断線、短絡</td></tr>
<tr><td>３９５</td><td>過熱防止サーミスタの断線、短絡</td><td rowspan="11">お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>４５０</td><td>送風機の回転数異常</td></tr>
<tr><td>５４３</td><td>循環ポンプ手動スイッチの異常</td></tr>
<tr><td>５６３</td><td>熱動弁Ａ用リレーの故障</td></tr>
<tr><td>５６４</td><td>熱動弁Ｂ用リレーの故障</td></tr>
<tr><td>５９０</td><td>炎検出器の異常</td></tr>
<tr><td>７１０</td><td>電磁ポンプ回路の故障</td></tr>
<tr><td>７２０</td><td>疑似火炎</td></tr>
<tr><td>７４０</td><td>電磁ポンプリレーの固着異常</td></tr>
<tr><td>７６０</td><td>リモコン通信異常</td></tr>
<tr><td>７６１</td><td>リモコン適合異常</td></tr>
<tr><td>８８８</td><td>法定点検時期のお知らせ
（タイムスタンプ）※</td><td>法定点検時期です。お買い上げの販売店または弊社に連絡してください。</td></tr>
</table>

※：機器の使用開始から 10 年経過するとリモコンに「888」を表示して法定点検時期をお知らせします。故障ではありませんのでご使用できますが、今後安全にご使用していただくためにお買い上げの販売店または弊社にご連絡していただき、法定点検（有償）を受けることをおすすめします。
点検後は３年ごとに「888」を表示して点検時期をお知らせします。

部品交換のしかた

交換品が必要なときは、お買い求めになった販売店でお求めください。

■修理は（一財）日本石油燃焼機器保守協会で行なう技術管理講習会修了者［石油機器技術管理士］の修理をお受けください。

仕　　様

項目		仕様
型式		CBL-EN5200STFF
型式の呼び		CBL-EN520
種類	燃焼方式	圧力噴霧式
	給排気方式	屋内用密閉式強制給排気形
	用途別方式	給湯用、暖房用、融雪用
	給水方式	水道直結式、シスターン式、タンク式
	加熱方式	1缶1水路式
点火方式		高圧放電式
使用燃料		灯油（ＪＩＳ　1号灯油）
燃料消費量		60.8 kW（5.91 L/h）
暖房効率		84.1%
暖房出力		51.2 kW（44,000kcal/h）
連続給湯効率		86.0%
連続給湯出力		52.3 kW（45,000kcal/h）
熱交換器容量		35 L
最高使用圧力		0.1 MPa
伝熱面積		1.2 ㎡
外形寸法		高さ 955 ㎜×幅 382 ㎜×奥行 614 ㎜
質量		40kg
電源電圧及び周波数		ＡＣ 100 Ｖ　50/60Hz
定格消費電力		点火時 122/120 W　燃焼時 100/97 W
待機時消費電力		1.5 W
給排気筒の型式の呼び		FF-101A（別売）
給排気筒の呼び径		D80
給排気筒の壁貫通部の孔径		φ 120 ㎜
排気温度		260℃以下
騒音レベル		53 dB（A）
ノズル	噴霧量	1.5 GPH
	スプレーパターン	A
	噴霧角度	60 度
電流ヒューズ		10 A
温度ヒューズ		167℃
安全装置		対震自動消火装置（感震器）、燃焼制御装置（炎検出器）、停電安全装置、過熱防止装置
附属品		アース線 (1)、取扱説明書 (1)、工事説明書 (1)、所有者票 (1)、プラグ R1'1/4(3)、プラグ R1/2(1)、ブッシング R1'1/4×Rc3/4、アンカー脚 (4)

アフターサービス

●修理について

ご使用中に異常が生じ、50 ～ 51 ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って処置をしても、なおらない場合には、お買い上げの販売店までご連絡ください。なお、ご連絡されるときは、機器の型式名及びお買い上げ時期をお知らせください。

・ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
・ご贈答品などで保証書に記入してあるお買上げの販売店に修理の依頼ができない場合は、弊社までご相談ください。
・保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。

●保証書について

保証書は、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
保証書に設置日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときは、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。
万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたします。
この機器の保証期間は設置日から２年です。その他の詳細は保証書をご覧ください。
この取扱説明書やラベル類による指示、禁止、注意事項に反したご使用状態で万一事故が発生した場合、弊社は責任を負いかねます。

●補修部品供給期間について

補修部品の供給期間は、製品の製造年より 13 年間です。

据　付　け

■ 据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、工事説明書をお読みください。

■ 騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

■ 据付け工事後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられていることを確認してください。

■ 試　運　転

試運転は必ず販売店または据付業者とご一緒に行なってください。

1．運 転 準 備

（1）**給油及び送油経路の空気抜きと油漏れの確認**

- 油タンクへの給油は油量計を見ながら行なってください。
- 送油経路内の空気抜きを行なってください。（詳しくは９ページをお読みください）
- 送油経路に油漏れのないことを確認してください。

（2）**給水及び水漏れの確認**

- 給湯栓を開き、水が出ることを確認してください。
- 暖房用または融雪用として使用の場合、循環経路へ循環水をいれ、循環経路の空気抜きを行なってください。
- 配管経路からの水漏れがないことを確認してください。

（3）**電源プラグ差し込みの確認**

- 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。
- 延長コードは使用しないでください。

２．運　　　転

（1）運転開始手順

・油タンクの送油バルブのつまみを全開にします。

・運転スイッチを押して運転を開始します。（詳しくは 13、18、27 ページをお読みください）

（2）初期運転時の異常現象

電磁ポンプ内に空気を吸い込むと運転時に異常音を発し、正常に燃料を噴霧しません。このとき、空気抜きをしないと、数回の点火操作を必要をする場合があります。（詳しくは９ページをお読みください）

また機器の設置条件などにより、燃焼空気が不適正の場合は、異常発煙や振動燃焼を生じることがあります。

（3）正常運転のめやす

上記の初期運転時の異常現象がなく、排気筒から黒煙など出ていないことを確認してください。

３．消火の手順

運転スイッチを押して運転を停止します。

無料修理保証書

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買げの販売店または弊社へご相談ください。

型式名		CBL－EN5200STFF	保証期間	設置日より ① 熱交換器は５年 ② ①を除く電装品・バーナーは２年
保証対象部分		機器本体（リモコン含む）	★ 設置日	年　月　日
★お客様	ご住所	〒　－		
	お名前	様　TEL（　）		
★販売店	住所 店名	TEL（　）　㊞ または サイン		

★印欄に記入のない場合は有効になりません。必ず記入してください。

＜無料修理規定＞

◆取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理致します。
◆保証期間内に故障して無料修理をご依頼の場合、お買上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
◆ご贈答品または引越しのために本書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社にご相談ください。
◆保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
▽設置後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送などによる故障及び損傷。
▽火災、地震、風水害、落雷、塩害、凍結、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性などの有害ガス、ほこり、その他の天災地変、公害、異常気象、異常電圧、異常電磁波、異常水圧、設置環境などによる故障及び損傷。
▽ねずみ、鳥、ヤモリ、くも、昆虫などの侵入による故障及び損傷。
▽不適当な配管、配線、取付、組み立て、その他施工上の誤りによる故障及び損傷。
▽給水、給湯配管の錆びなどの異物流入による故障及び損傷。
▽システム及び周辺関連部品に起因する故障及び損傷。
▽業務用への使用、車両や船舶への搭載、一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷。
▽指定以外の燃料、不良燃料、（水やゴミ混入、変質）、使用電圧（電圧、周波数）による故障及び損傷。
▽水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水、水質全硬度（石灰質など）100mg/L 以上での使用による故障及び損傷。
▽本書の提示がない場合。
▽本書に設置日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは販売店の訂正印なしで、字句を書き換えられた場合。
◆本書は日本国内においてのみ有効です。
◆本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

長府工産株式会社

山口県下関市長府東侍町１番５号　〒 752-0977　TEL（083）245 － 5441（代）

長年ご使用の油だき温水ボイラの点検を！

このような症状はありませんか

- ●水漏れがする
- ●油漏れがする
- ●煙が出たり、強い臭いがする
- ●運転中に異常な音や振動がする
- ●その他の異常や故障がある

このような症状の場合は使用を中止し、事故防止のため、運転スイッチを「切」にし、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

便利メモ

型　式		設置日	年　月　日
販売店名	電話番号（　　　）		

快適生活の新しい価値を創造する
長府工産株式会社

本　　社	〒752-0977　山口県下関市長府東侍町 1-5 TEL：083-245-5441㈹　FAX：083-245-9644
大阪支社	〒567-0031　大阪府茨木市春日 3-14-17 TEL：072-625-5338㈹　FAX：072-625-5742
東北支店	〒989-3127　宮城県仙台市青葉区愛子東 6-7-47 TEL：022-391-1215㈹　FAX：022-391-1565
横浜支店	〒226-0025　神奈川県横浜市緑区十日市場町 872-19-2F TEL：045-989-5885㈹　FAX：045-989-5886
関東営業所	TEL：0285-31-3177　FAX：0285-31-3188
名古屋営業所	TEL：052-800-5553　FAX：052-800-5563
熊本営業所	TEL：096-386-2370　FAX：096-386-2371
宮崎営業所	TEL：0985-50-7624　FAX：0985-50-7869
鹿児島営業所	TEL：099-260-2052　FAX：099-266-2410
沖縄営業所	TEL：098-874-2397　FAX：098-874-2819